

### 3. 履修モデルプラン

#### 望ましい履修学年と具体的な履修カリキュラム【中・高 一種・英語】

← 前頁の「施行規則に定める科目区分」の表を見ながら確認

履修年次		具体的な科目名称									
年次	時期	教職に関する科目			望ましい学年	教科及び教科の指導法に関する科目【必修】	望ましい学年	教科に関する専門的事項【大学が独自に定める科目】※は必修科目あり	望ましい学年	施行規則第66条の6に関する科目	その他教職課程に関連のある科目
		免許法施行規則に定める科目区分	対象学年	科目名称							
1年次	前期	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び概論	1年	教育原理				1～2年	日本国憲法	学校インターンシップ 体験予定者は教職課程センターで話を聞き、過去に体験した先輩よりアドバイスを受けることを推奨します。 (2年次より受付開始)
		総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	総合的な学習の時間の指導法 特別活動の指導法	1～2年	特別活動の指導法(総合的な学習の時間を含む。)				1年	健康の科学	
	教育の基礎的理解に関する科目	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム教師観への対応を含む。)	1～2年	教職論(チーム学校への対応を含む。)				1年	Communicative English 1-a		
	教育の基礎的理解に関する科目	児童、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	1～2年	教育心理学				1～4年	スポーツ/シブンスポーツ		
後期	総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	生徒指導論(進路指導を含む。)	1～2年	生徒指導論(進路指導を含む。)				1年	情報処理演習 1-a		
	教育の基礎的理解に関する科目	特別支援教育	2～3年	特別支援教育				1年	情報処理演習 1-b		
2年次	前期	教育の基礎的理解に関する科目	教育課程の意義及び編成の考え方(カリキュラム・マネジメントを含む。)	1～2年	教育課程論	2年	●英語学a	2年	Screen English a	学校インターンシップ 体験【体験資格は英検2級以上】 ※推奨年次ですが、この学年での「教科及び教科の指導法に関する科目」と「大学が独自に定める科目」(※欄に記号のない科目)の最大数履修が今後の進捗における重要なポイントとなっておりますので、履修科目登録後で特定曜日に空きがある等の確定的なスケジュールの、計画・相談してください。★異文化理解科目は最低2科目4単位以上が必修扱いです。履修方法に制約があるので、左頁を要確認)	
		教育の基礎的理解に関する科目	教育課程の意義及び編成の考え方(カリキュラム・マネジメントを含む。)	1～2年	教育課程論	2年	●イギリス文学a	2年	★アメリカ文化論a		
	教育の基礎的理解に関する科目	教育課程の意義及び編成の考え方(カリキュラム・マネジメントを含む。)	1～2年	教育課程論	2年	●イギリス文学a	2年	★イギリス文化論a			
	教育の基礎的理解に関する科目	教育課程の意義及び編成の考え方(カリキュラム・マネジメントを含む。)	1～2年	教育課程論	2年	●英語学b	2年	★American Government a			
	教育の基礎的理解に関する科目	教育課程の意義及び編成の考え方(カリキュラム・マネジメントを含む。)	1～2年	教育課程論	2年	●英語学b	2年	Screen English b			
	教育の基礎的理解に関する科目	教育課程の意義及び編成の考え方(カリキュラム・マネジメントを含む。)	1～2年	教育課程論	2年	●イギリス文学b	2年	★American Government b			
後期	総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育の方法及び技術(ICTの活用を含む。)	2年	教育の方法及び技術(ICTの活用を含む。)	2年	●イギリス文学b	2年	★American Government b			
	総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育相談(カウンセリング)に関する基礎的な知識を含む)の理論及び方法	2～3年	教育相談(カウンセリングを含む。)			2年	Conference English			
	教育の基礎的理解に関する科目	特別の支援を必要とする児童、児童及び生徒に対する理解	2～3年	特別支援教育			2年	★アメリカ文化論b			
	教育の基礎的理解に関する科目	特別の支援を必要とする児童、児童及び生徒に対する理解	2～3年	特別支援教育			2年	★イギリス文化論b			
3年次	前期	教科及び教科の指導法に関する科目	各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	3年	英語科教育法Ⅰ			3年	英語史a	学校インターンシップ (体験推奨学年)	
		教科及び教科の指導法に関する科目	各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	3年	英語科教育法Ⅰ	3年	●アメリカ文学a	3年	英語音声・音韻論a		
	総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	3年	道徳教育の指導法	3年	●アメリカ文学b	3年	英語史b			
	教科及び教科の指導法に関する科目	各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	3年	英語科教育法Ⅱ	3年	●Oral Communication I - a	3年	英語音声・音韻論b			
	教科及び教科の指導法に関する科目	各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	3年	英語科教育法Ⅱ	3年	●Oral Communication I - b	3年	英語音声・音韻論b			
	教科及び教科の指導法に関する科目	各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	3年	英語科教育法Ⅲ	3年	●Oral Communication I - a	3年	英語音声・音韻論b			
後期	総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育実習	3年	教育実習の指導							
	教科及び教科の指導法に関する科目	各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	3年	英語科教育法Ⅲ	3年	●Oral Communication I - b	3年	英語音声・音韻論b			
	教科及び教科の指導法に関する科目	各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	3年	英語科教育法Ⅲ	3年	●Oral Communication I - b	3年	英語音声・音韻論b			
	教科及び教科の指導法に関する科目	各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	3年	英語科教育法Ⅲ	3年	●Oral Communication I - b	3年	英語音声・音韻論b			
4年次	前期	教育実習に関する科目	教育実習	4年	教育実習Ⅰ・Ⅱ	4年	●Oral Communication II - a			学校インターンシップ (教員採用試験以後推奨)	
		教科及び教科の指導法に関する科目	各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	4年	英語科教育法Ⅳ						
	教科及び教科の指導法に関する科目	各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	4年	英語科教育法Ⅳ	4年	●Oral Communication II - b					
	教科及び教科の指導法に関する科目	各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	4年	英語科教育法Ⅳ	4年	●Oral Communication II - b					
後期	教育実習(前期・後期実施)についての判断は、実習校の指定による) ※5～6月が基本	教育実習	4年	教育実習Ⅰ・Ⅱ							
	教科及び教科の指導法に関する科目	各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	4年	英語科教育法Ⅳ	4年	●Oral Communication II - b					

※○～○年と表記されている科目ですが、履修を早めにしておくことで、多忙になる3～4年次の負担を大幅に減らすことが出来ます。

■注意

- 教科及び教科の指導法に関する科目【必修】は特段の理由無き場合、必ず履修対象年度に履修する事。最終学年履修で成績がF等(不可等)になると免許状の申請が出来ません。
- カリキュラム配当はカリキュラム表で必ず確認して下さい。この表の設定学年はあくまでも目安です。バッティング等で履修登録不可の科目は次年度取得を計画し、3年次までに学年設定のある必修科目以外の教職履修科目を満たしておくようにして下さい。最低2～4単位多く取得しておけば不測の事態に備えられます。(履修学年を指定されている科目もありますので注意) 2年次までに設定されている科目は、2年次までに履修することを勧めます。
- 英語の教員免許取得に必要な必修科目(英語科教育法)は、「英語科教育法Ⅰ」(3年前期)、「英語科教育法Ⅱ・Ⅲ」(3年後期)の順でしか履修できません。さらに、4年次の教育実習を予定している学生は、「英語科教育法Ⅳ」(4年前期)が実習時に必ず必要となります。各科目の内容はシラバスを参照すること。
- 「教育相談」は、「教育心理学」を履修してからの履修となります。
- 「介護等体験」への参加は、事前に「特別支援教育」を修得しておくことが条件となります。